

令和3年10月25日

プロ野球観戦について

中国遊技機商業協同組合(山本基庚理事長)福利厚生委員会では、毎年同事業の一環として、今年度も広島東洋カープの公式戦観戦を行いました。

昨年と今年度は、世界を震撼させている新型コロナウイルス感染拡大に伴い、例年150名余りが収容できる球場レフト側に設置してあるパーティーベランダで観戦するところ、その感染拡大の影響を受け、密集対策等の措置に配慮した球団側の要請により半数ずつ80名内での観戦となり、今年度は、8月27日の阪神戦、10月1日の東京ヤクルト戦の2戦に分けて、合わせて約120名の組合員等の観戦となりました。とりわけ広島県の緊急事態宣言解除後の10月1日は、快晴とはいえ、観戦時には肌寒さを感じるなかで、コロナ感染対策にも十分配慮し、小声での応援とはなりましたが、カープ勝利を信じる我々組合員等にも熱が入り、楽しい一時を過ごしました。

残念ながら試合は4対5で負けてしまいましたが、盛況のうちに終了し、それぞれが親睦も深めることができました。

【8月及び10月の観戦状況】

